

決算特別委員会産業建設分科会

H29.9.19(火)

午前11時38分～

場所：第2委員会室

1 開 会

2 事務事業評価選定事業の論点整理

- (1) 農業事務経費
- (2) 商工業振興対策経費
- (3) 観光推進経費

3 その他

(1) 審査日程

- ・ 9月20日(水) 10:30～ 所管分審査(土木建築部、まちづくり推進部)
- ・ 9月21日(木) 10:00～ 所管分審査(上下水道部、産業観光部)
- ・ 9月22日(金) 10:00～ 事務事業評価
分科会採決

◎事務事業評価 論点整理資料

① 農業事務経費																
内容	○農業公園の管理について、指定管理者として（公財）亀岡市農業公社を指定し、施設の適正な維持管理に努めた。															
選定理由	<p>（前回意見）</p> <p>○農業公園の管理に 600 万円程度支出してきたが、どのようなことをしてきたのか把握したい。</p> <p>○なぜ 600 万円程度の経費が要するのか。いろいろな都市公園があるが、地域や市が管理している公園はそんなに使っていない。</p> <p>○平成 29 年度からは農業公社からシルバー人材センターに替わっているが、平成 28 年度までの実績を検証したい。</p>															
参考	<p>○農業公園指定管理委託料の推移</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>指定管理者 金額</th> <th>参考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28 年度</td> <td>（公財）亀岡市農業公社 5,862,857 円</td> <td>消費税 8%</td> </tr> <tr> <td>27 年度</td> <td>〃 5,862,857 円</td> <td>消費税 8%</td> </tr> <tr> <td>26 年度</td> <td>〃 5,862,857 円</td> <td>消費税 8%</td> </tr> <tr> <td>25 年度</td> <td>〃 5,700,000 円</td> <td>消費税 5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※指定管理期間：平成 25 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日</p> <p>※平成 29 年度から指定管理者を（公社）亀岡市シルバー人材センターに変更。（当初予算：5,324 千円） （指定管理期間：平成 29 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日、4 年間）</p> <p>※平成 27 年度の指定管理委託料の内訳は、人件費（職員給与等）、管理費（光熱水費、委託費、資材購入費等）などとなっている。 （平成 29 年 2 月 28 日、財政援助団体等監査の結果に関する報告より）</p>	年度	指定管理者 金額	参考	28 年度	（公財）亀岡市農業公社 5,862,857 円	消費税 8%	27 年度	〃 5,862,857 円	消費税 8%	26 年度	〃 5,862,857 円	消費税 8%	25 年度	〃 5,700,000 円	消費税 5%
年度	指定管理者 金額	参考														
28 年度	（公財）亀岡市農業公社 5,862,857 円	消費税 8%														
27 年度	〃 5,862,857 円	消費税 8%														
26 年度	〃 5,862,857 円	消費税 8%														
25 年度	〃 5,700,000 円	消費税 5%														
論点	○ ○															

◎事務事業評価 論点整理資料

② 商工業振興対策経費																																																																							
<p>選定理由</p>	<p>(前回意見) ○補助金が適正に支出されているか。 ○成果、事業効果は。 ○補助金について、人的な部分に出しているのか、事業費として出しているのか。事業費として出しているものはどういう事業なのか。</p>																																																																						
<p>参考</p>	<p><平成 28 年度主要施策報告書 主な経費の推移></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 28 年度</th> <th>平成 27 年度</th> <th>平成 26 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森のステーション基本計画策定 業務委託料</td> <td>972,000</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>亀岡商工会議所事業補助金</td> <td>8,231,000</td> <td>370,760</td> <td>15,731,000</td> </tr> <tr> <td>平和祭(花火大会)事業補助金</td> <td>3,500,000</td> <td>3,500,000</td> <td>2,500,000</td> </tr> <tr> <td>青年部・女性会育成事業補助金</td> <td>370,000</td> <td>462,000</td> <td>462,000</td> </tr> <tr> <td>企業立地奨励金</td> <td>27,089,300 (4 件)</td> <td>33,193,300 (5 件)</td> <td>35,131,300 (6 件)</td> </tr> <tr> <td>雇用促進奨励金</td> <td>6,200,000 (2 件)</td> <td>900,000 (1 件)</td> <td>100,000 (1 件)</td> </tr> <tr> <td>商店街等イベント事業補助金</td> <td>4,008,000 (17 件)</td> <td>4,457,000 (16 件)</td> <td>4,514,000 (15 件)</td> </tr> <tr> <td>亀岡地域経営・経済動向調査 事業補助金</td> <td>200,000</td> <td>250,000</td> <td>250,000</td> </tr> <tr> <td>商工業振興公共下水道助成金</td> <td>8,000,000</td> <td>8,000,000</td> <td>9,026,000</td> </tr> <tr> <td>地域商店街にぎわいづくり 支援事業補助金</td> <td>1,818,000</td> <td>580,000</td> <td>1,000,000</td> </tr> <tr> <td>安全安心商店街事業補助金</td> <td>141,840</td> <td>141,840</td> <td>141,840</td> </tr> <tr> <td>ものづくり産業雇用支援助成金</td> <td>15,660,000 (29 件)</td> <td>—</td> <td>6,440,000 (22 件)</td> </tr> <tr> <td>創業促進助成金</td> <td>995,000 (3 件)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>商工業振興事業補助金</td> <td>12,500,000</td> <td>11,000,000</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ものづくり産業経営安定化 支援助成金</td> <td>1,462,600 (7 件)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>商店街等総合振興事業費 補助金</td> <td>3,304,000 (2 件)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>				平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度	森のステーション基本計画策定 業務委託料	972,000	—	—	亀岡商工会議所事業補助金	8,231,000	370,760	15,731,000	平和祭(花火大会)事業補助金	3,500,000	3,500,000	2,500,000	青年部・女性会育成事業補助金	370,000	462,000	462,000	企業立地奨励金	27,089,300 (4 件)	33,193,300 (5 件)	35,131,300 (6 件)	雇用促進奨励金	6,200,000 (2 件)	900,000 (1 件)	100,000 (1 件)	商店街等イベント事業補助金	4,008,000 (17 件)	4,457,000 (16 件)	4,514,000 (15 件)	亀岡地域経営・経済動向調査 事業補助金	200,000	250,000	250,000	商工業振興公共下水道助成金	8,000,000	8,000,000	9,026,000	地域商店街にぎわいづくり 支援事業補助金	1,818,000	580,000	1,000,000	安全安心商店街事業補助金	141,840	141,840	141,840	ものづくり産業雇用支援助成金	15,660,000 (29 件)	—	6,440,000 (22 件)	創業促進助成金	995,000 (3 件)	—	—	商工業振興事業補助金	12,500,000	11,000,000	—	ものづくり産業経営安定化 支援助成金	1,462,600 (7 件)	—	—	商店街等総合振興事業費 補助金	3,304,000 (2 件)	—	—
	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度																																																																				
森のステーション基本計画策定 業務委託料	972,000	—	—																																																																				
亀岡商工会議所事業補助金	8,231,000	370,760	15,731,000																																																																				
平和祭(花火大会)事業補助金	3,500,000	3,500,000	2,500,000																																																																				
青年部・女性会育成事業補助金	370,000	462,000	462,000																																																																				
企業立地奨励金	27,089,300 (4 件)	33,193,300 (5 件)	35,131,300 (6 件)																																																																				
雇用促進奨励金	6,200,000 (2 件)	900,000 (1 件)	100,000 (1 件)																																																																				
商店街等イベント事業補助金	4,008,000 (17 件)	4,457,000 (16 件)	4,514,000 (15 件)																																																																				
亀岡地域経営・経済動向調査 事業補助金	200,000	250,000	250,000																																																																				
商工業振興公共下水道助成金	8,000,000	8,000,000	9,026,000																																																																				
地域商店街にぎわいづくり 支援事業補助金	1,818,000	580,000	1,000,000																																																																				
安全安心商店街事業補助金	141,840	141,840	141,840																																																																				
ものづくり産業雇用支援助成金	15,660,000 (29 件)	—	6,440,000 (22 件)																																																																				
創業促進助成金	995,000 (3 件)	—	—																																																																				
商工業振興事業補助金	12,500,000	11,000,000	—																																																																				
ものづくり産業経営安定化 支援助成金	1,462,600 (7 件)	—	—																																																																				
商店街等総合振興事業費 補助金	3,304,000 (2 件)	—	—																																																																				
<p>論点</p>	<p>○ ○</p>																																																																						

〔主な質疑〕

問：各補助事業の実施により、リピーター等で伸びた業種は。

答：街バル等の取組みでは飲食店等を中心としたサービス業について売り上げが伸びた。駅前周辺で実施された100円商店街では、サービス業はもちろん、木材の端材等の販売等、普段出入りされない工務店や離れている店にも足を運ばれるなど、これまでにない効果があったと聞いている。

問：イベント時は良いとして、その後にリピーターとして行くものなのか。

答：一過性で終わらないよう、定例的に行う必要がある。次の開催日を予告しておくことは他市の事例でも見受けられる。そうすることによって広告宣伝費等も軽減され、消費者も楽しみにされるのではないかと聞いている。

問：プレミアム商品券カード事業に関して、現実に活用されていない事業者、消費者もあった中、結果はどうであったと受け止めているか。

答：プレミアムチャージ分で1万人を超え、キャッシュバック分では1万3558人の実績があり、また、カードの発行では当初2万枚程度であったものが、2万5千枚を超える発行となり、一定普及されたものと考えている。その後の展開に関しては、顧客データを各店舗にフィードバックするための積極的な施策が必要と考えている。また、大型店と小売店の比率でみると、4割を超える部分が地元業者に流れ、良い効果があったと聞いている。

問：電子化するメリットとして、キャッシュレス対応できることと、利用者の年齢層等を分析してすぐに個店にフィードバックできることが挙げられるが、そのフィードバックができていないということから、どこにデータがあって誰がどのように分析して報告するのか、そのシステムは現在どうなっているのか。

答：亀岡商工会議所、商業協同組合、商店街連盟の3者で取組まれたものであるが、システムは商業協同組合が管理されているホストコンピュータにあり、個店ごとにデータ抽出することは可能であるが、フィードバックする手順等について、マニュアル化できていなかったのが一つの反省点である。現時点において、全てのデータは商業協同組合の管理下にある。

問：そのデータを個店が引き出すためには、どのような手続きが必要となるのか。

答：各個店から商業協同組合の方に申し出をいただくこととなる。

[評価（意見）]

- ・プレミアム商品券の当初導入時には、カード化により今後に生かされるメリットを期待して導入を判断した経過があったが、それが生かされていないことは残念である。
- ・市民ニーズの的確な把握という評価視点から、プレミアム商品券も含めて、商店街に対する市民のニーズを掴みきれていないように感じられた。
- ・商店街自体がどのような商店街にしていこうとしているのか、市としてもその方向性が見えていない感がする。
- ・プレミアム商品券実施時には店、客ともに活気があったと感じられたが、それを次にどのようにつなげていくのか、その方向性を個店に示してもらえれば、もっと意欲を喚起できたのではないか。
- ・100円商店街は個店の魅力や経営強化にはつながっていないのではないか。
- ・リピーターとして確実に再来店されるような取組みができていないように見えない。
- ・効果が一過性で継続的なものとはなっていない。工夫が必要。
- ・商店街等については、地域や人口等によって性質も異なる。行政だけにどうこう言うのではなく、商業団体や各事業者の声もあることから、全体的な方向性としてどうしていくのかということが大きな課題である。
- ・行政では商店街の活性化についてよく認識されているが、地域性や人口動向等、様々な状況がある中、実際に受けて立つのは、個店と消費者であり、行政が具体的な施策をとるのは難しい。市全体として商店街のにぎわいづくりに向けた方向性をもって進めていくべきである。
- ・プレミアム商品券は、補助金がでない場合にはもう実施しない方がよい。
- ・100円商店街は、宝探しゲームと組み合わせるなど楽しみを持てるようにして、街中をもっと活性化できるのではないか。
- ・H商店街における街ゼミの取組みなど、やる気のある商店街に必要な支援を行い、他の商店街等へ波及させていくような工夫を求めたい。
- ・商店街としてどのような商店街にしていこうというものを自ら出していただき、それに対して行政が支援していくことが大事であり、商店街の思いを実現していくためにフォローしていくのが行政の支援のあり方と考える。
- ・買物難民について話題となってきている中、地域で支えていこうという関係を構築できればと考えている。その点からも行政の支援を願いたい。

[担当部意見]

プレミアム商品券に関しては、カード化によるデータを生かしていないとの指摘をいただき、十分に反省して今後生かしていかなければならない。また、各事業を展開する中で、今後生かしていけるような工夫も必要である。本市の地域活性化を図る上で、商店街の底上げはやはり必要であるので、地域の商店街、商業団体と協力しながら、行政としてできる支援を行い、個店そのものの意欲を喚起できるような施策を進めていきたい。

[主な質疑]

問：各種補助事業の成果はどのようにとっているのか。

答：一定の実績報告をいただいているが、実際にそれによって何名の集客がありどのような成果があったのか、集約していない現状がある。今後、事業の改善点として、きちっと受け止めて成果指標をおさえていけるように変えていきたい。

問：成果については、商店にどれだけ儲けがあったかという成果が出るはずである。それはきちっとすべきと考えるが。

答：商店街への事業補助を行っているものであり、商店街はおそらく個店の売り上げや来客数等を把握されていないので、直接どのような売り上げ効果があったのかというところまでは、計ることができないものと思っている。

問：亀山城下ひなまつり事業等は、期間を決めて限定的に行う事業であることから、前年度よりも売り上げがあったかなど、意見は集約すべきである。いかがか。

答：事業実施により一定の集客につながったという意見等を実績報告の中で伺っている。

問：どれだけ儲かったのかということも確認し、効果的な補助となっているのか検証すべきである。来年度もするのかどうか考えた上での意見集約をしていただきたい。

問：店舗経営戦略相談委託料に係り、1店にかかる経費は。

答：中小企業診断士への報酬として、1店あたり3万円を支払っている。その他、訪問先により交通費などの経費がかかっている。

問：対象70店のうち、経営状況が伸びた店、また、閉めた店は。

答：相談の半年後にフォローアップとして改善指導を行っているが、その調査はできていない。ただし改善に取り組み、成果があったと評価されているところが多く見受けられる。長期的な観点から検証していきたい。

問：店舗経営の相談士は、分野ごとに色々な方がおられるのか、それとも同じ方か。

答：中小企業診断士には専門領域があるため、各個店に事前に照会し、相談内容に応じた診断士を派遣するよう、マッチングを図っている。

問：各種イベント事業は一過性であると思っている。継続性のある内容に変えていくべき。商店街から主体性のある取り組みを行うための施策は。

答：行政の支援と事業者の主体性が必要。商店街の意思を確認しながら効果的な施策を行いたい。イベント事業は一過性と指摘を受けるが、地域の商店街には、地元で頑張ってもらっているというコミュニティ機能があり、地域へ貢献する役割が大きいことから、イベント事業への関わ

りは大切にしていきたいと考えている。

問：ポイントカードシステムに係り、加盟店の区別、加盟店によるチャージの可否等の理由で利用しにくいと感じている。その点で広報が必要であるが、その取り組みは。

答：各加盟店では、表示により消費者に周知を図っているが、消費者の視点に立ち、よりよい取り組みに向けて商業協同組合と協議していきたい。

問：イベント補助に係り、一過性の補助とならないよう、商店街組織の育成についての考えは。

答：商店街としての組織力を高めていくため、各事業の展開を通じて、より相談を深め一緒に考えていきたい。

問：今後の方向性に係り、商店街だけに留めずに介護サービス等の福祉施策と商店街を結びつけるような方向性を検討できないか。

答：ポイントカードシステムに係り、他業種と連携したサービスの検討に取り組んできた経過があるが、実施するまでには至っていない。今後、空き店舗活用等を含め、地域の課題と商店街の役割について、ともに考えていきたい。

問：商店街イベント事業補助金の申請時の審査の内容は。

答：年次計画への位置付けがあるが、同じ事業を繰り返しているところもある。新たに集客に向けた事業の相談を受けるところもある中で、効果の検証を商店街で取り組んでもらえるようなことも含め、次年度の審査に向け協議を進めていきたい。

問：商店街の規模や運営に差がある中、補助申請に係る事業内容、申請額の実態は。

答：市の補助額40万円の上限を見込み、80万から100万円の事業規模で申請される商店街が多いのが現状。場合によっては100万円を超えるところもある。

問：商店街自体が路頭に迷っているような現状であり、明確なビジョンも持っていない。商店街活性化のための望ましい支援のあり方として考えると、本事業のみを取り上げて判断、評価することは困難である。市はどのような姿勢で、本事業に取り組まれているのか。

答：市としてできることは、一過性ではなく商店街へ還るしくみを考えているが、各イベント事業について、商店街が手を上げたら助成しているのが現状である。ビジョンについて、5年前に立てたものと様変わりしたほうがよいのか、地元商店街と協議する中で、来年度以降の計画をつくりたいと考えている。

問：商店だけでなく、大型店舗へも補助金を交付しているが、なぜか。

答：地元商店がテナントとして入って組織化されているものであり、商店街連盟に加入されているものである。

[評価（意見）]

- ・個別に診断士を派遣することは、商工会議所が行うべきで市が行うべきではない。
- ・商店街イベント補助事業は一律の補助金ではなく、商店街の規模に応じて行うべき。また、ポイントカードについて、消費者のニーズに合っておらず改善が必要である。
- ・目的は明確であるが、手法が適切でなく、活動実績の把握をうまくできていない。したがってマンネリ化している。単発的であり、一体的なものとなっていない。
- ・イベント事業等、成果がみえていない。大型店の進出の中、残念ながら商店は減少傾向の状況下にあり、十分な成果が上がっていない。
- ・本事業によらず、観光施策等、別事業により考えるものがある。
- ・イベント事業補助金に係り、商店街の規模、能力に差がある中、一律となっている。
- ・商店街への補助に係り、効果的に行っているのかという点を含め、公平とはいえない。
主に中心市街地に補助がでており、周辺に商店街がない地域もある。
行政の掲げる今後の方向性について、買い物弱者に向け宅配サービスとあるが、現下において宅配サービスは減少傾向にある。認識が異なる。
- ・補助金を交付したことについて、具体的な成果を検証してもらいたい。
- ・現実的に商店が疲弊していることを考えると、もっと知恵を絞り他市の成功例を取り入れる等、これまでとは異なる助成の検討も必要である。意欲のある商店に対しての助成を行うシステムにすべき。
- ・補助金を交付するだけでなく、行政からの指導、働きかけが必要である。
- ・商店街、商業の売上高、従業員数や個店数が減っているが、それは政治が守らなければならないことである。とりわけ売場面積が野放しになっており、面的に範囲を決めてやっていかなければならない。その方向性を検討すべきである。
- ・商店街が主体となって、行政はその後からついてくるのが成功事例であるが、本市においては、それは厳しい現状である。まだまだ行政が深く関わって体力のある商店街から波及していくような事業展開をしてもらいたい。
- ・ふれあいポイントカードは、魅力ある価値がつくよう改善されたい。
- ・どうすれば活性化につながるのか、行政も地元であるために見えていない部分があると思われるが、地元の消費者として深くかかわり、賑わいの創出や売り上げが伸びる等、活性化につながるよう指導的役割に努められたい。

[担当部意見]

どうすればよいのかが見えてこない。それは地元の商業者も同様であり、その中でも元気な方が出てきてもらえたらと思う。その中で商店街というくくりよりも、個店という切り口で考えていくべきであり、頑張っている個店から商店街自身の底上げにつながることを期待される。国、府の補助施策も商店街というくくりを対象にしているが、今後は個店というくくりも一つの展開事例になると思われる。大型店との共存についても、課題と感じているが、何もしなければもっと疲弊するので、現状から一歩二歩でも上がるような施策を研究していきたい。

◎事務事業評価 論点整理資料

③ 観光推進経費																																																																											
選定理由	(前回意見) ○補助金が適正に執行できているのか。 ○官学連携の事業内容等、具体的なそれぞれの補助金の使途は。 ○補助金を含めて全体の経費が適正かどうか。																																																																										
参考	<平成 28 年度主要施策報告書 主な経費の推移> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">平成 28 年度</th> <th style="text-align: center;">平成 27 年度</th> <th style="text-align: center;">平成 26 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">観光協会補助経費</td> <td style="text-align: right;">40,752,000</td> <td style="text-align: right;">30,086,000</td> <td style="text-align: right;">34,290,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">関係団体会費及び負担金</td> <td style="text-align: right;">705,000 (7 団体)</td> <td style="text-align: right;">695,000 (6 団体)</td> <td style="text-align: right;">505,000 (5 団体)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">亀岡の観光PRに係る交通広告</td> <td style="text-align: right;">5,983,740</td> <td style="text-align: right;">5,994,270</td> <td style="text-align: right;">5,996,916</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">観光おもてなし事業</td> <td style="text-align: right;">3,722,760</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">トロッコ嵯峨駅 臨時観光案内所設置事業</td> <td style="text-align: right;">999,000</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">外国人観光客向け観光案内所 窓口強化事業</td> <td style="text-align: right;">8,142,120</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">丹波亀山城下町 まち歩き誘客事業</td> <td style="text-align: right;">2,160,000</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">森の音楽祭事業</td> <td style="text-align: right;">1,080,000</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">かめまる体操普及事業</td> <td style="text-align: right;">500,000</td> <td style="text-align: right;">500,000</td> <td style="text-align: right;">500,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">亀岡観光情報発信映像制作・ 配信事業</td> <td style="text-align: right;">500,000</td> <td style="text-align: right;">500,000</td> <td style="text-align: right;">500,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">亀岡観光ユーストリーム 放送配信事業</td> <td style="text-align: right;">100,000</td> <td style="text-align: right;">100,000</td> <td style="text-align: right;">300,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">産業観光支援事業経費</td> <td style="text-align: right;">1,200,000</td> <td style="text-align: right;">1,500,000</td> <td style="text-align: right;">5,552,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">亀岡光秀まつり事業経費</td> <td style="text-align: right;">1,840,000</td> <td style="text-align: right;">2,800,000</td> <td style="text-align: right;">2,300,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">伝統芸能保存育成事業 補助金交付</td> <td style="text-align: right;">560,000</td> <td style="text-align: right;">600,000</td> <td style="text-align: right;">600,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">城下町観光誘客事業経費</td> <td style="text-align: right;">1,000,000</td> <td style="text-align: right;">1,250,000</td> <td style="text-align: right;">1,250,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平和祭広報等経費</td> <td style="text-align: right;">320,000</td> <td style="text-align: right;">400,000</td> <td style="text-align: right;">1,400,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">森のステーションかめおか 推進事業</td> <td style="text-align: right;">9,178,000</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>				平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度	観光協会補助経費	40,752,000	30,086,000	34,290,000	関係団体会費及び負担金	705,000 (7 団体)	695,000 (6 団体)	505,000 (5 団体)	亀岡の観光PRに係る交通広告	5,983,740	5,994,270	5,996,916	観光おもてなし事業	3,722,760	-	-	トロッコ嵯峨駅 臨時観光案内所設置事業	999,000	-	-	外国人観光客向け観光案内所 窓口強化事業	8,142,120	-	-	丹波亀山城下町 まち歩き誘客事業	2,160,000	-	-	森の音楽祭事業	1,080,000	-	-	かめまる体操普及事業	500,000	500,000	500,000	亀岡観光情報発信映像制作・ 配信事業	500,000	500,000	500,000	亀岡観光ユーストリーム 放送配信事業	100,000	100,000	300,000	産業観光支援事業経費	1,200,000	1,500,000	5,552,000	亀岡光秀まつり事業経費	1,840,000	2,800,000	2,300,000	伝統芸能保存育成事業 補助金交付	560,000	600,000	600,000	城下町観光誘客事業経費	1,000,000	1,250,000	1,250,000	平和祭広報等経費	320,000	400,000	1,400,000	森のステーションかめおか 推進事業	9,178,000	-	-
	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度																																																																								
観光協会補助経費	40,752,000	30,086,000	34,290,000																																																																								
関係団体会費及び負担金	705,000 (7 団体)	695,000 (6 団体)	505,000 (5 団体)																																																																								
亀岡の観光PRに係る交通広告	5,983,740	5,994,270	5,996,916																																																																								
観光おもてなし事業	3,722,760	-	-																																																																								
トロッコ嵯峨駅 臨時観光案内所設置事業	999,000	-	-																																																																								
外国人観光客向け観光案内所 窓口強化事業	8,142,120	-	-																																																																								
丹波亀山城下町 まち歩き誘客事業	2,160,000	-	-																																																																								
森の音楽祭事業	1,080,000	-	-																																																																								
かめまる体操普及事業	500,000	500,000	500,000																																																																								
亀岡観光情報発信映像制作・ 配信事業	500,000	500,000	500,000																																																																								
亀岡観光ユーストリーム 放送配信事業	100,000	100,000	300,000																																																																								
産業観光支援事業経費	1,200,000	1,500,000	5,552,000																																																																								
亀岡光秀まつり事業経費	1,840,000	2,800,000	2,300,000																																																																								
伝統芸能保存育成事業 補助金交付	560,000	600,000	600,000																																																																								
城下町観光誘客事業経費	1,000,000	1,250,000	1,250,000																																																																								
平和祭広報等経費	320,000	400,000	1,400,000																																																																								
森のステーションかめおか 推進事業	9,178,000	-	-																																																																								
論点	○ ○																																																																										

平成29年9月定例会 決算特別委員会産業建設分科会 審査日程案

平成29年9月20日(水) 日程

予定時間	議案番号	会計名等	出席者	備考
10:00～		全体会(決算状況説明) 決算状況説明		
10:30～	第6号	一般会計(土木建築部所管分) ・2款総務費・8款土木費・11款災害復旧費 (歳出歳入一括説明・質疑)	土木建築部	
昼休憩				
13:00～	第6号	一般会計(まちづくり推進部所管分) ・2款総務費・8款土木費 (歳出歳入一括説明・質疑)	まちづくり推進部	
13:45～	第13号	土地取得事業特別会計 (歳出歳入一括説明・質疑)	〃	

平成29年9月21日(木) 日程

予定時間	議案番号	会計名等	理事者	備考
10:00～	第15号	上水道事業会計 (歳出歳入一括説明～質疑)	上下水道部	
	第51号	上水道事業会計未処分利益剰余金の処分 (説明～質疑)	〃	
11:00～	第8号	簡易水道事業特別会計 (歳出歳入一括説明～質疑)	〃	
11:15～	第16号	下水道事業会計 (歳出歳入一括説明～質疑)	〃	
	第52号	下水道事業会計未処分利益剰余金の処分 (説明～質疑)	〃	
11:45～	第10号	地域下水道事業特別会計 (歳出歳入一括説明～質疑)	〃	
昼休憩				
13:00～	第6号	一般会計(産業観光部所管分) ・2款総務費・6款農林水産業費 (歳出歳入一括説明・質疑) ・11款災害復旧費 (歳出歳入一括説明・質疑)	産業観光部	
(14:30～14:40) 休憩				
14:40～	第6号	一般会計(産業観光部所管分) ・2款総務費・5款労働費・7款商工費 (歳出歳入一括説明・質疑)	〃	
15:40～		(事務事業評価打合せ)	—	

平成29年9月22日(金) 日程

予定時間	内容	理事者	備考
10:00～	【事務事業評価】 ・商工業振興対策経費	産業観光部	
休憩			
11:00～	【事務事業評価】 ・観光推進経費	〃	
昼休憩			
13:00～	【事務事業評価】 ・農業事務経費	〃	
休憩			
14:00～	分科会討論・採決	—	

平成29年9月25日(月) 分科会予備日

平成29年9月26日(火) 日程(予定)

予定時間	内容	理事者	備考
10:00～	分科会(委員長報告確認)		
上記終了後	全体会(分科会委員長報告、事務事業評価結果等)		
上記終了後	会派会議		
13:00～	全体会(討論、採決)		

＜凡例＞
A：地方創生に非常に効果があった
B：地方創生に効果があった
C：地方創生に効果がなかった

No.	①事業名	②担当部署	③実績額(円)	④事業概要	⑤取組内容	⑥取組の成果	⑦重要業績評価指標(KPI※)		⑧KPIに基づく評価		⑨その他
							項目	目標値(H29.3)	実績値	評価	
1	保津川の魅力を定着化し地域資源に活用するまち興し	環境市民部 環境政策課 土木建築部 桂川・道路整備課 教育部 社会教育課 文化資料館	【総事業費】 19,697,449 【交付金】 19,697,449 (交付率10/10)	天然記念物アユモドキに代表される貴重な生き物の魅力を活かした事業を展開するため、川ごみ学習や保津川の歴史講座などで保津川の魅力を発信するとともに、景観整備や自然環境を活かした共生ゾーンを検討するなかで、まち興しを行う。	保津川の魅力を発信する取組として、保津川の自然景観を体感しながら環境保全の重要性を感じられる事業を展開することで自然環境・景観の保全に対する意識の向上を図り、川に視点を置いた暮らしの象徴として筏の復活とアユモドキの保護啓発活動を実施した。また、川と人との関わりや物流、川の生業の歴史についてなど保津川の文化遺産としての魅力に迫る全2回の「保津川歴史講座」を開催し、歴史講座への参加が少なかった若年層を対象として保津川の魅力について解説したパンフレットを作成した。 保津川の魅力を定着化する取組として、「京都・亀岡保津川公園」内において、アユモドキをはじめとする希少な生物が生息できる共生ゾーンの整備に向けたアユモドキ生息環境再生整備実験を行うとともに、亀岡市都市計画公園「京都・亀岡保津川公園」共生ゾーン基本構想の検討を実施した。また、景観整備のため堤防等の除草業務や広場の植栽剪定業務を行った。	保津川の魅力を発信する取組について、各種イベント、講座の参加者数は目標を上回り、市外からも多くの参加をいただいた。2回の歴史講座では第1回で保津川と近世の人々との関わりや、保津川の古写真を利用したトークを行い、第2回では川の生業が観光資源として今も継続している長良川・天竜川・保津川について、各県の担当者や船下りの事業者を招いて比較等を行った。こうした取り組みを通じて、保津川の価値を見直し理解を深める機会を提供できた。また、保津川の川べりでいかだの試し乗りを実施したり、国際森林シンポジウム(森の京都)展示会場で筏関連資料の展示を行うことで保津川を軸とした筏文化復活への取り組みを広く知ってもらう機会となった。 保津川の魅力を定着化する取組としてはアユモドキ生息環境再生整備実験の結果、都市計画公園の一部と周辺に共生ゾーンを設ける構想につながった。また、除草や植栽剪定により景観維持を行い保津川の魅力が高まった。	各種イベント、講座 1,100人 1,702人 保津川での企業のCSR活動社数 3社 2社 市外からの転入者 2,660人 2,450人 観光入込客数 ※各事業の効果に基づいて積算しているため、事業ごとに目標値が異なっています。 2,430,000人 2,799,860人	B	企業のCSR活動社数や転入者数は目標に達しなかったが、各種イベント参加者や観光入込客数の増加がみられ、一定の効果があった。		
2	森のステーション・匠ビレッジ事業	産業観光部 観光戦略課	【総事業費】 25,000,000 【交付金】 25,000,000 (交付率10/10)	地域資源(チョロギ、天然砥石等)を有効活用し、既存の亀岡交流会館に「匠ビレッジ」を設置し、仕事の体験できる場を整備するとともに、地域特産活用型ビジネスの事業展開を行い、交流人口の増加、雇用の拡大、担い手等の確保、雇用促進、移住定住へ繋げる。	亀岡の地域資源のひとつである天然砥石に着目し、既存施設である亀岡市交流会館を、亀岡産の天然砥石をはじめ日本各地や世界の砥石を展示するとともにインストラクターが研ぎ方を教える「研ぎ体験コーナー」も常設するなど研ぎの体験ができる展示体験型の施設として整備した。すばらしい技でモノを作り上げる職人の仕事を支え続けてきた「天然砥石」。この上質で多彩な砥石が採れるここ亀岡を「天然砥石の聖地」として広く発信するとともに、本地域で創作活動をされている工芸家をはじめとする「匠の技」の展示販売コーナーも兼ね備えた亀岡市の新たな観光の拠点として「森のステーションかめおか」匠ビレッジをスタートさせた。 また、地域特産活用型ビジネスモデルとして、認知症予防に効果があるとされている「チョロギ」をはじめ金時生姜などの販売ブースの設置をし、新たな雇川を促進し、移住定住につなげるために、今後整備予定の薬草原や薬膳レストランなどの整備検討をおこなった。	「森の京都」というキャッチフレーズのもと、「森」をテーマとした戦略的交流拠点づくり、地域資源を活用する拠点づくりをめざすための端を開く事業展開ができ、匠ビレッジのプレオープン時には、目標を上回る来場者でにぎわった。 匠ビレッジにおいては天然砥石の歴史や地質についての展示解説の他に、新規就業者として2名の職人を雇川し、天然砥石を使用しての包丁等の研ぎ体験の指導をおこなうことで、亀岡の砥石文化を広く発信し、職人の技術を体験できる魅力ある施設として整備した。	観光入込客数 ※各事業の効果に基づいて積算しているため、事業ごとに目標値が異なっています。 2,435,000人 2,799,860人 観光消費額 64億円 74.20億円 匠ビレッジ新規就業者数 2人増 2人増 匠ビレッジ・展示ブース入場者 1,000人 2,844人	A	3大観光に次ぐ新たな観光拠点として、地域資源を活かした魅力ある施設として十分な効果があった。		
3	「森の京都」DMO地域活性化推進事業	企画管理部 企画調整課 産業観光部 観光戦略課	【総事業費】 10,000,000 【交付金】 10,000,000 (交付率10/10)	「林業の振興」「自然環境の保全」「森の文化の魅力発信」などの取組を強化するとともに、森の京都の魅力を全国に発信する「森の京都博」を開催し、交流人口の拡大及び定住促進の取組の強化を図った。また、「森の京都DMO」を設立し、総合的かつ計画的に観光地域づくりを推進する。	森の京都地域(福知山市、綾部市、亀岡市、南丹市、京丹波町)の観光関連団体や行政などが連携、ネットワークの強化を図り、地域の総合プロデューサーとして地域の魅力を引き出し、地域力を高める組織「一般社団法人森の京都地域振興社(通称:森の京都DMO)」を設立し、観光地域づくりの推進による交流人口の拡大、地域全体の振興を図った。 また、平成28年度は「森の京都」のターゲットイヤーとして、通年事業として「森の京都博」が開催された。亀岡市においては「森の京都博」メインイベントの一つとして、従来とは違う視点から「森の京都」への興味・関心を盛り起こし、「森の京都」エリアに対する新たな関心層を作り出すことを目的に、女性向けファッション誌である「me」とタイアップし、平成28年5月28日(土)に、「森の京都博×mer☆ガールズFes」が開催された他、本市における「森の京都」重点エリアである千歳町自治会において、地域資源である「丹波七福神」を活用した地域振興、交流人口の拡大を目的に、「千歳はでっかい宝船～丹波七福神フェスティバル～」が実施されるにあたり、「森の京都」事業補助金を交付し、事業推進の補助を行った。	地域の多様な事業者が参画して(一社)森の京都地域振興社が設立されたこと等により、各地域の取り組みを横断的に調整しながら、地域資源のブラッシュアップ、どこにもあるようどこにもない地域の魅力の発信、知名度の向上等を図り、地域全体で観光誘客等を推進する基礎が構築された。 また、1年間を通して、「森の京都博」を開催した結果、例年よりも多くの方々に森の京都エリアに来訪いただき、交流人口の拡大につながった。「千歳はでっかい宝船～丹波七福神フェスティバル～」については、当日は、雨天であったものの、町内外から多数の参加者が来訪され、千歳町の有する歴史・自然・農産物等の魅力発信につながった。	ツアー参加者数年間合計 100人 140人 観光入込客数 ※各事業の効果に基づいて積算しているため、事業ごとに目標値が異なっています。 2,460,000人 2,799,860人	A	各種イベントの開催により交流人口の拡大に効果があり、森の京都エリアの魅力発信ができたため十分な効果があった。		
4	京都丹波移住定住プロジェクト	産業観光部 ものづくり産業課	【総事業費】 3,000,000 【交付金】 3,000,000 (交付率10/10)	京都丹波の2市1町(南丹市、京丹波町、亀岡市)が連携して、特に各地域の事業所と若者の就職のマッチングを行うとともに、移住促進のパンフレットを作成する。	ワークショップ等のイベント開催や移住促進及び就職マッチングを目的とした「京都丹波Walker」の作成により、京都丹波地域以外の方々に、当該地域の企業の魅力や地域の特色を広く周知することが出来た。また、合同企業説明会や企業見学ツアーの実施により、亀岡市内に所在する中小企業の魅力を直接触れることができ、結果、4件の問い合わせが見られ、内、2件の正社員採用に繋がる等の成果が見られた。なお、「京都丹波就職支援協議会」に大学生の参画を目標としていたが、亀岡市及び京丹波町において参画はなかったものの、南丹市において1名の大学生の参画があり、当該事業を実施する上で、当該年齢層の意見を踏まえた上での事業実施に一定の成果が見られた。	大学生参画者数 2人 0人 就職マッチング相談者数 50人 57人 パンフレット作成数 4,000部 4,000部	B	大学生の参画は亀岡市ではなかったが、就職マッチングへの相談者数は目標以上で、正社員採用の成果もあり、一定の効果があった。			
		総事業費合計	57,697,449								
		交付金合計	57,697,449								

※重要業績評価指標(KPI)とは、各事業ごとの進捗状況を検証するために設定する指標(目標値)です。

<凡例>
A：地方創生に非常に効果があった
B：地方創生に効果があった
C：地方創生に効果がなかった

No.	①事業名	②担当部署	③実績額(円)	④事業概要	⑤取組内容	⑥取組の成果	⑦重要業績評価指標(KPI※)			⑧KPIに基づく評価		⑨その他
							項目	目標値(H29.3)	実績値	評価	特記事項	
1	(府広域) 今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業	生涯学習部 スポーツ推進課 産業観光部 ものづくり産業課 観光戦略課 農林振興課 教育部 文化資料館	【総事業費】 63,189,926 【交付金】 31,594,963 (交付率1/2)	ワールドベストシティランキングで2年連続1位に輝いた京都市に訪れる国内外の観光客を、京都府全域への周遊へつなげていくため、国際観光都市「京都市」、北部の「海」、中部の「森」、南部の「お茶」という地域ブランドの下にそれぞれDMOを設立し、岡城内の観光・交流・集客等に関する事業を一体的・総合的に実施できる体制整備を進めるとともに、各DMO間の周遊性の向上による観光滞在時間の長期化と観光消費額の増加を図り、観光産業が地域経済を循環させる社会の実現を目指す。	「観光プロモーション・基盤整備事業」としては観光案内機能の強化としてJR岡駅観光案内所及びトロッコ亀岡駅観光案内所における英語観光案内対応事業やトロッコ嵯峨駅における臨時観光案内所設置事業、築約100年の町家を活用した城下町観光案内所事業を行った他、本市の魅力を発信するため本市ゆかりの「明智光秀」大河ドラマ誘致活動事業、ロケ支援・誘致プロモーション事業、本市観光マスコットキャラクターを活用した観光キャンペーンを行った。 「観光プロモーション・基盤整備事業」としては観光案内機能の強化としてJR岡駅観光案内所及びトロッコ亀岡駅観光案内所における英語観光案内対応事業やトロッコ嵯峨駅における臨時観光案内所設置事業、築約100年の町家を活用した城下町観光案内所事業を行った他、本市の魅力を発信するため本市ゆかりの「明智光秀」大河ドラマ誘致活動事業、ロケ支援・誘致プロモーション事業、本市観光マスコットキャラクターを活用した観光キャンペーンを行った。 「食農・観光等連携事業」としては亀岡の「食」と「農」について広く周知し、また地産地消が促進できるよう「アグリフェスタ2016」や「農業塾」、「料理塾」を開催した。また、安全・安心な農産物を消費者に提供できるよう、農薬や化学肥料の低減による環境に配慮した農業への支援として、亀岡市内で製造された畜産堆肥を活用し、農業の根幹となる土づくりを通じて集落営農活動を促進すると共に、安全安心な農産物の生産振興により亀岡野菜ブランドの確立と販売力の拡大に努めた。販売に関しては、市内直売所に対し体制強化のための助成を行った。 「にぎわい誘客事業」としては、観光入込客数を伸ばすため、明智光秀ゆかりの城下町を散策しながら協賛店でお得に食事、土産等を購入できる「宝さがしゲーム」の実施、「亀岡祭」山鉦行事に合わせて城下町にあんどんを灯し街角ギャラリイ等のにぎわい創出事業を実施した。また、京都亀岡ハーフマラソンや商店街の「京都サンガ2017シーズン亀岡市壮行会」や「第10回亀岡城下ひなまつり事業」への補助を行った他、文化資料館において第60回企画展「季節の楽しみ～行事食と暮らしの道具～」、第32回特別展「山とともにくちす～森・川・いかだ～」を開催し、亀岡のにぎわい創出、魅力発信につとめた。 また、その他の事業としてJR4駅に隣接する駐輪場を活用したレンタサイクル事業を実施し、点在する観光資源のネットワーク化を図った。	「観光プロモーション・基盤整備事業」については臨時観光案内所を含め観光案内所には英語のできるスタッフを常駐させ、霧の風景や京野菜、天然砥石等ここにしかない観光資源のPR、また、世界的観光都市である京都市からJR快速でわずか20分の地の利を活かし、一足伸ばしの観光地として「体験観光」のプロモーション等を実施し、外国人を含めた観光入込客、外国人宿泊者数、及び観光消費額の増加につなげた。 「食農・観光等連携事業」については、「アグリフェスタ2016」で約5,000人の方に安全安心な亀岡産農畜産物や加工品、農業体験を楽しんでいただき、「食」と「農」の理解促進、また「地産地消」の意識づけについて、一定の成果があったものと考えている。また、安全・安心な農産物を提供するため、亀岡市内で製造された畜産堆肥を活用し、集落営農活動を推進する農家に対し、助成を行った。環境にやさしい循環型農業への取り組みに貢献した。 「にぎわい誘客事業」については関連団体等と協働で本市の歴史・文化に触れる取り組み、地域の特産品等をPRする取り組みを実施したり、観光地やハイキングコース等の整備を実施することでにぎわいを創出し、外国人観光客を含めた観光入込客及び観光消費額の増を図った。 また、レンタサイクル事業によって点在する観光資源や交通拠点を結び、滞在時間の延長、観光消費額の増加につなげた。	観光消費額 8910.4億円 観光入込客数 8499.2万人 外国人宿泊者数 209.8万人	(府) 1兆1446.7億円 (府) 8741.1万人 (府) 325.6万人	A	京都府内全域の目標値を十分達成し、広域連携による観光推進事業として十分な成果があった。		
2	森のステーションかめおか	産業観光部 ものづくり産業課 観光戦略課	【総事業費】 10,000,000 【交付金】 5,000,000 (交付率1/2)	「森の京都」としての取組の効果をより一層高めるため、市街地周辺地域のそれぞれ特徴を有する神前地区【匠ビレッジ、チョロギ村】、西別院町【ドリームトン村(英国村)】、川東地区【レンタサイクル事業等】の3地域を「森のステーション」として位置付け、「森の京都」の新たな入り口としての機能を持たせ、市街地及び隣接する京阪神から来訪者呼び込み、亀岡市全体に人の流れを創出し、滞在型の事業を展開することで、亀岡市の付加価値を向上させ、にぎわい人口の拡大及び定住促進に繋げることを目的とする。	「森の京都」としての取組の効果をより一層高めるため、国道9号をはじめ、それに接続する幹線道路周辺地域を「森」をテーマに地域資源を活用した観光誘客を図る「森のステーション」として位置づけ、隣接する京阪神から来訪者呼び込み、亀岡市全体における人の流れを創出し、滞在型の事業を展開することで、亀岡市のブランド力を高め、にぎわい人口の拡大及び定住促進に繋げることを目的に「森のステーション基本計画」を策定した。 また、宮前町神前地区の森のステーション匠ビレッジにおいて亀岡の特産品である天然砥石やチョロギを中心に、SHOKU(職・食・触・植・森・飾)をテーマとした展示・体験ゾーンを、プレオープンし、匠の技に触れる展示体験事業として、「天然砥石と匠の技」展を開催するため、展示体験ブースの設置等充実を図った。	3ヶ年計画の初年度として、交流会館、匠ビレッジの草創期整備事業、匠の技に触れる展示体験事業を実施した。平成29年度に整備する草創期については計画図の作成及び限客管理を整備し、匠ビレッジの展示については平成29年度のリニューアルオープンに向けて天然砥石の採掘現場を再現したオブジェの制作をはじめ、刀剣用、料理人の包丁用、大工職人の鑿や鉋用途に合わせた天然砥石とその道具をベースを設ける使用道具の展示や体験学習の普及活動の充実にも努めた。 職人の技展開業においては、実際に2名の職人による、天然砥石を使用しての包丁等の研ぎ体験の指導をおこない、文化の発信とともに職人の技術を体験できる機会を提供するなど、地域資源を活かした亀岡の新たな観光拠点として魅力を高めることができた。	観光消費額 64.58億円 森のステーションかめおか入場者数 120,000人 匠ビレッジかめおか職人の技展開業による職人サポート数 2人	74.20億円 125,619人 2人	A	森のステーション全体として目標以上の来客があり、亀岡市の新たな観光拠点として、十分な効果があった。		
3	「亀岡まるごとガーデン・ミュージアム」プロジェクト	まちづくり推進部 都市計画課 都市整備課	【総事業費】 4,092,441 【交付金】 2,046,220 (交付率1/2)	亀岡市内に息づく花や緑などの魅力を体感いただくため、市民・民間が主役の緑のまちづくりを進める「ガーデン・ミュージアム」と、豊かな自然環境に恵まれた地域の生物保全や地域資源を活かしたまちづくりを進める「ネイチャー・ミュージアム」の2つを融合させ、亀岡まるごとミュージアム(博物館)として位置付け、亀岡の来訪者へのおもてなしの気持ちを表すとともに、地域活性化、観光振興を図り、にぎわい人口の拡大及び定住促進に繋げる。	本プロジェクトの構想を策定するため、保全・再生等を行うべき地域資源の抽出とその特性に関して、都市部について京都学園大学、農村部について京都大学にて調査を実施した。 また、本市が推進する花と緑のまちづくりの一環として、京都縦貫道亀岡ランプにおいて、来訪者を気持ちよく迎え、亀岡の魅力を体感いただくためのウェルカムガーデンを整備するため、計画作成を委託した。	構想策定に向けて実施した調査内容・調査結果を基に、今年度引き続き具体策案を含んだ構想のまとめを行うこととしている。構想の内容に合わせ、具体的な事業実施に繋げることをする。 なお、平成29年3月18日に「亀岡まるごとガーデン・ミュージアム」構想(都市部編)策定に関する調査研究について開催した景観講演会において、市民等69名が参加し44通のアンケートが提出され、市民の関心を寄せている。今後、市内外に構想の取組みについて広く発信していき、亀岡を訪れたい、亀岡に住みたいという意識の醸成に繋げる。	亀岡市の転出入の増減幅縮小 △1,825人 (転出が転入を1,825人超過) にぎわい人口 5,648,000人 市民及び来訪者アンケートによる亀岡市での居住意向人数 175人	△2,010人 (転出が転入を2,010人超過) 5,917,122人 未実施	B	転出入数にすぐに効果は出ていないが、亀岡市を訪れる人を示すにぎわい人口は増加しており、今後の展開に向けて一定の効果はあった。		
		総事業費合計	77,282,367									
		交付金合計	38,641,183									

※重要業績評価指標(KPI)とは、各事業ごとの進捗状況を検証するために設定する指標(目標値)です。

【 暫 定 値 】

平成28年度決算状況			都道府県名	京都府	コード番号	262064	市町村類型	Ⅱ-1			
					市町村名	亀岡市	交付税種地	Ⅰ-4			
国調	人 口		面 積	人口密度	人口集中地区人口		産 業 構 造				
	平成22年	92,399人	224.80	411人	62,239人		区分	第1次	第2次	第3次	
	平成27年	89,479人	Km ²	398人	61,048人		就 業 人 口	22年国調	1,718人	11,457人	28,286人
	増減率	△ 3.2%						3.8%	25.6%	68.2%	
住基 H28.3.31	90,694人	27年国調	1,779人	10,827人	28,002人						
H29.3.31	90,107人		4.1%	25.3%	65.3%						
区 分			平成27年度 (千円)	平成28年度 (千円)	区 分	指数等	指定団体等の状況				
1 歳入総額	A	35,206,926	32,686,634	基準財政需要額 (千円)	15,268,520	・都市計画区域 ・辺地 ・近畿圏 ・特定農山村地域	事務の共同処理状況				
2 歳出総額	B	34,752,918	32,223,079	基準財政収入額 (千円)	9,016,023	国民健康保険南丹病院組合					
3 歳入歳出差引額 A-B	C	454,008	463,555	標準財政規模 (千円)	18,859,221	丸岡市及び南丹市財源区組合					
4 翌年度へ繰り越すべき財源	D	43,550	27,535	財政力指数	単年度 0.590 3ヵ年平均 0.586	京都中部広域消防組合					
5 実質収支 C-D	E	410,458	436,020	実質収支比率	2.3%	京都府自治会館管理組合					
6 単年度収支	F	28,213	25,562	積立金現在高 (千円)	2,549,007	京都府住宅新築資金等貸付事業管理組合					
7 積立金	G	194,629	219,033	地方債現在高 (千円)	41,895,799	京都府後期高齢者医療広域連合					
8 繰上償還金	H	220,295	315,074	債務負担行為 (千円)	3,415,353	京都市地方税機構					
9 積立金取崩額	I	500,000	690,000								
10 実質単年度収支 F+G+H-I	J	△ 56,863	△ 130,331								
一般職員等					特別職等						
区 分	職員数 A (人)	給料月額 B (千円)	1人当り支給月額 B/A (円)		区 分	改定実施 年月日	1人当り平均給料 (報酬)月額 (円)				
一般職員	524	159,556	304,496		市 長	平成23年12月1日	985,000				
教育公務員	14	4,507	321,929		副 市 長	〃	787,000				
消防職員	—	—	—		病院事業管理者	〃	664,000				
技能労務職員	2	589	294,500		教 育 長	〃	694,000				
臨時職員	—	—	—		議 会 議 長	平成18年7月1日	560,000				
合計	540	164,652	304,911		議 会 副 議 長	〃	490,000				
公 営 事 業 の 状 況	事業名	法適用の有無	実質収支 (千円)	普通会計からの繰入額 (千円)	職員数 (人)	議会議員 (22人)	〃	440,000			
	簡易水道事業	無	8,902	32,487	2	健全化判断比率	実 質 赤 字 比 率	—			
	上水道事業	有	127,649	115,801	30	連 結 実 質 赤 字 比 率	—				
	公共下水道事業	有	94,006	703,351	20	実質公債費比率 (3ヵ年平均)	11.7%				
	特定環境保全公共下水道事業	無	6,084	111,979	1	将 来 負 担 比 率	137.4%				
	農業集落排水事業	無	1,945	334,520	4	収 支 額	398,835千円				
	小規模集合排水処理事業	無	950	13,863	0	普通会計からの繰入額	832,162千円				
	病院事業	有	△ 286,729	476,018	118	加 入 世 帯 数	12,939世帯				
	介護保険事業	無	227,945	939,733	33	被 保 険 者 数	21,348人				
	後期高齢者医療事業	無	17,748	251,375	4	1 世 帯 当 り 保 険 料 調 定 額	171,650円				
後期高齢者医療事業(後期高齢者医療広域連合)へ一般会計からの繰出金(千円)				751,405		被 保 険 者 1 人 当 り 保 険 料 調 定 額	109,751円				
						被 保 険 者 1 人 当 り 費 用	355,530円				

市町村名		京都府亀岡市				類型	Ⅱ - 1	平成28年度決算			
歳入					性質別歳出						
区分	決算額	構成比	経常一般財源	構成比	区分	決算額	構成比	一般財源等	経常経費充当一般財源	経常収支比率	
	千円	%	千円	%		千円	%	千円	千円	%	
地方税	9,917,871	30.3	9,704,715	53.7	人件費	5,260,949	16.3	4,781,826	4,532,452	25.1	
地方譲与税	211,483	0.6	211,483	1.2	うち職員給	3,091,186	9.6	2,861,811	2,780,134	15.4	
利子割交付金	17,172	0.1	17,172	0.1	扶助費	7,908,711	24.6	2,178,285	2,135,557	11.8	
配当割交付金	55,826	0.2	55,826	0.3	公債費	4,448,033	13.8	4,348,480	4,033,406	22.3	
株式譲渡所得割交付金	32,711	0.1	32,711	0.2	元利償還金	4,447,683	13.8	4,348,130	4,033,056	22.3	
地方消費税交付金	1,502,391	4.6	1,502,391	8.3	一時借入金利子	350	0.0	350	350	0.0	
ゴルフ場利用税交付金	81,936	0.2	81,936	0.5	小計	17,617,693	54.7	11,308,591	10,701,415	59.2	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	物件費	3,514,705	10.9	2,703,407	2,090,198	11.6	
自動車取得税交付金	68,355	0.2	68,355	0.4	維持補修費	152,184	0.5	124,681	124,681	0.7	
地方特例交付金	59,385	0.2	59,385	0.3	補助費等	4,457,442	13.8	3,828,364	3,073,280	17.0	
地方交付税	7,082,261	21.7	6,239,936	34.5	投資及び出資金	86,936	0.3	29,336	0	0.0	
普通交付税	6,239,936	19.1	6,239,936	34.5	繰出金	3,267,524	10.1	2,660,758	2,434,107	13.5	
特別交付税	842,325	2.6	-	-	積立金	400,333	1.2	209,999	-	-	
小計	19,029,391	58.2	17,973,910	99.5	貸付金	5,450	0.0	1,184	1,184	0.0	
交通安全対策特別交付金	12,722	0.0	12,722	0.1	前年度繰上充用額	-	-	-	-	合計	
分担金及び負担金	504,256	1.5	-	-	投資的経費	2,720,812	8.5	761,986	18,424,865 ……B		
使用料	468,358	1.4	80,765	0.4	うち人件費	255,325	0.8	243,255	B/A	101.9%	
手数料	354,296	1.1	-	-	普通建設事業費	2,682,874	8.4	759,270	減収補填債、臨時財政対策債		
国庫支出金	5,181,360	15.9	-	-	補助事業費	1,145,330	3.6	76,887	1,216,610 ……C		
府支出金	2,709,855	8.3	-	-	単独事業費	1,267,859	4.0	668,658	B/(A+C)	95.5%	
財産収入	92,772	0.3	6,845	0.0	府営事業負担金	269,685	0.8	13,725	一般財源等総額		
寄附金	174,286	0.5	-	-	災害復旧費	37,938	0.1	2,716	(一般財源等合計に決算剰余金を加算)		
繰入金	777,636	2.4	-	-	失業対策事業費	-	-	-	22,091,861 千円		
繰越金	454,008	1.4	-	-	合計	32,223,079	100.0	21,628,306			
諸収入	259,984	0.8	726	0.0							
地方債	2,667,710	8.2	-	-							
合計	32,686,634	100.0	18,074,968 ……A								
市税						目的別歳出					
区分	決算額	構成比	増減率	基準財政収入額	超過課税分収入済額	区分	決算額	構成比	一般財源等		
	千円	%	%	千円	千円		千円	%	千円		
市民税	3,988,164	40.2	△ 2.2	3,127,496	-	議会費	296,476	0.9	296,476		
個人分	3,988,164	40.2	△ 2.2	3,127,496	-	総務費	3,596,856	11.2	3,075,037		
法人分	574,845	5.8	△ 5.1	362,943	106,914	民生費	12,944,718	40.2	5,913,163		
固定資産税	4,333,753	43.7	0.7	2,974,564	285,116	衛生費	2,431,590	7.5	1,970,025		
軽自動車税	229,062	2.3	18.2	179,054	-	労働費	6,458	0.0	6,458		
市たばこ税	558,913	5.6	△ 1.9	421,629	-	農林水産業費	1,053,338	3.3	705,559		
特別土地保有税	-	-	-	-	-	商工費	348,840	1.1	271,053		
目的税	233,134	2.4	0.6	-	-	土木費	3,196,843	9.9	1,766,099		
入湯税	19,978	0.2	△ 1.9	-	-	消防費	1,197,517	3.7	1,166,507		
都市計画税	213,156	2.2	0.8	-	-	教育費	2,664,472	8.3	2,106,733		
旧法による税	-	-	-	-	-	災害復旧費	37,938	0.1	2,716		
合計	9,917,871	100.0	0.2	-	392,030	公債費	4,448,033	13.8	4,348,480		
適用税率の状況						諸支出金	-	-	-		
						前年度繰上充用金	-	-	-		
						合計	32,223,079	100.0	21,628,306		
市民税	個人分	均等割	3,500円	市民税	均等割	3,600千円 2,100千円 492千円	徴収率	区分	現年課税分	滞納繰越分	合計
		所得割	標準税率に対する比率		法人分	均等割		480千円 192千円 180千円	市民税	99.1	45.2
	1.0	固定資産税	法人税割	156千円 144千円 60千円	固定資産税	99.2		33.3	97.3		
	1.5/100			合計	99.2	38.8		97.6			